

# About Us



## 最新のPL対策を導入しませんか

PL法30年ぶりの改正  
モバイル社会における品質管理の見直し  
持続可能な体制整備  
グローバル社会における安全安心



たった1つのQRコードで上記の課題を解決できるシステムを提供します。導入することで事業者から消費者まで様々なベネフィットが得られます。



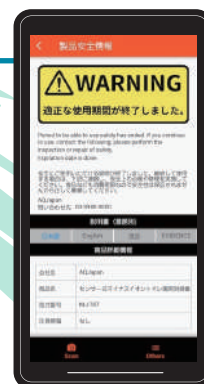
一般社団法人APL-Japan  
<https://apl.or.jp>



# あらゆる製品について、品質異常時の事前対策が求められています。

出荷後の製品安全に関わる情報、例えば設計寿命(消費期限)の通知、欠陥も緊急性を要することは一刻も早く使用者に伝えなければなりません。世界で製品(食品)トレーサビリティが必須となり、モバイルで伝えることが可能になりました。

## 平常時の情報



## 緊急時の情報

プッシュ通知や画面切り替え素早く伝える!



! 平常時から緊急時などの画面切り替えに特許取得

## 事業者が行うこと: 伝える責任

商品(製品)の本体やパッケージに専用のQRコードを表示します。製品情報を専用クラウドシステム「scodtcloud」に登録することで、専用モバイルサイトが自動生成され、製品の情報をGTIN+LOT単位で管理できます。食品から産業用資機材まで、すべての製品に対応しています。



scodt cloudについての動画  
[https://apl.or.jp/?page\\_id=2823](https://apl.or.jp/?page_id=2823)



## 対応効果

- 無料の安全点検アプリ「GS1QR scodt (すこどっと)」で誰でもスマホで情報が確認ができます。
- 2026年以降の改正PL法や流通小売側の自動認識の2次元シンボル対応、廃棄までの安全確保など、この先の変化に対応できます。
- B2B2Cデジタルトレーサビリティを実現します。

# 消費者や流通小売側の知りたいこと:知る権利

出荷後は販路も買い手・使い手も多種多様です。特にリスクに関わる情報、寿命や廃棄、自主回収、リコールなどについては常に最新の情報としてモバイル画面を切り替え通知、緊急時にはプッシュ通知などで伝えます。

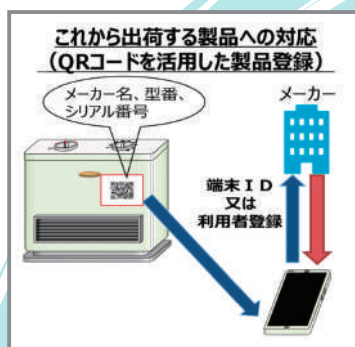
このシステムでは個人情報を使用しません。トラブルもなく2016年からシステムの長期耐久性を証明。

システム詳細はこちら

様々なプールしたデータからAI管理で自動抽出可能にする高度なver2.0の予告など。



<https://scodt.com>



## 対応効果

- すでに家電品などでリコール対応も実施、国にその効果を説明しています。
- 当団体発行の「取扱説明書ガイドライン」、「最新!PL対策解説書」等を利用した人材教育をシステムを運用する中でご利用いただけます。
- このシステムによる流通システム自動認識用の2次元シンボルを利用することで、販売先や自社のリスク低減が確認できます。

※出典元  
経済産業省 産業保安・製品安全のスマート化の進捗状況  
[https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/hoan\\_shohi/pd/](https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/hoan_shohi/pd/)

## 製品B2Cトレーサビリティの重要性

- ◆北米ではFSMA204が2026年から規制開始。
- ◆EUでのPL法改正ではアマゾンなどのDPFなども責任主体となり、流通小売の責任が明確に。

Walmart



これを受け、米Walmartが食品トレーサビリティを取引要件に!

[https://one.walmart.com/content/food-safety/en\\_us/food-safety-requirements/food-traceability.html](https://one.walmart.com/content/food-safety/en_us/food-safety-requirements/food-traceability.html)

- ここでいうトレーサビリティは生産者から消費者までの一貫したトレーサビリティであり、目的は市場での被害防止にあります。今後被害が発生するとトレーサビリティ有無の証明責任が事業者に求められます。

## scodt表示例 輸入食品表示ラベル

### scodt 利用者の声

消費者庁が推奨するエシカル消費に取り組むためにscodtを導入いたしました。これをきっかけに東京都北区SDGs推進認証企業として活動の幅が広がっています。



GS1QR  
scodt®



緊急時に直ちに対象製品の使用者に使用中止と対応方法を伝える、30年間PL対策を研究してきた私たちの結論がこのシステムです。



# 安全点検アプリ scodt(すこどっと)を利用することで2026年以降の対応が一気に効果的に進みます!

Safety Check On-Demand Technology (scodt)



多言語対応取扱説明書や商品案内と正しい表示対策

寿命到来や安全上の問題が発生した時の対応

高級和包丁



GS1QR  
scodt®

安全点検アプリ scodtと  
scodt cloudでできること



<https://scodt.jp>

専用アプリ「GS1QR scodt」をダウンロードしてアプリで再度それぞれのGS1QRを読み取ってください。



GS12D

リコール品



GS1QR  
scodt®



流通システムグローバル標準化機関GS1でも毎年紹介されています。



GS1 Japan Handbook  
2024-2025

[https://www.gs1jp.org/assets/img/pdf/GS1-Japan-Handbook\\_2024-2025.pdf](https://www.gs1jp.org/assets/img/pdf/GS1-Japan-Handbook_2024-2025.pdf)

GS1Japan Handbook  
2024~2025  
p14 1.5 B2C



この製品の最終ユーザーのアクセス履歴

個人情報に依存せず正確な  
B2B2Cトレーサビリティ  
が実現!



<https://scodt.com/trace/>

## APL-Japanの活動内容

日々、セルフレジや電子マネーでバーコードを利用したりQRコードを利用するためにモバイルアプリを使うことが当たり前になりました。製品の不具合があり回収をする場合も同様に、「安全点検アプリ」を使って製品の使用者に「使用停止とその通知をいち早く」実行することが可能になります。

私たちは専門性の高いPL(製造物責任)の団体として(一社)PL研究学会の研究成果を基盤に「取扱説明書や表示と製品リコールの成功による製品事故の未然防止と再発防止」に主眼を置き、国内では唯一実用化しているB2C対応システムを普及を推進しています。それを確実に運用していただくためのサポートとして「取扱説明書ガイドライン」「最新!PL対策解説書」などを通し持続可能な体制整備の支援を行っています。

- 安全点検アプリを利用したクラウドサービス
- 集積データの活用による新たなマーケティング
- PL検定での持続可能な体制
- 体制整備支援パッケージによる効果的な体制整備補強セミナーや講習会などの開催
- 書籍の発行



IT補助金対象サービス

### マルっとDX TQM編

社内体制の点検と不足部分を例えばscodt cloudを併用し、中小企業やスタートアップなどの皆様が最新のPL対策を半年から1年で導入できるコンサルティングパッケージです。詳しくはこちら>>

[https://apl.or.jp/?page\\_id=5697](https://apl.or.jp/?page_id=5697)



## 一般社団法人APL-Japan



【本部】 〒173-0013 東京都板橋区氷川町47-4 アビタシオンK 1F

【事務局】 〒982-0823 宮城県仙台市太白区恵和町35-28

TEL:050-6865-5180 FAX:022-247-8042

●お問い合わせはwebサイトの「問い合わせフォーム」をご利用ください。